

下條村の観光に関する村民アンケート

R6

下條村観光協会

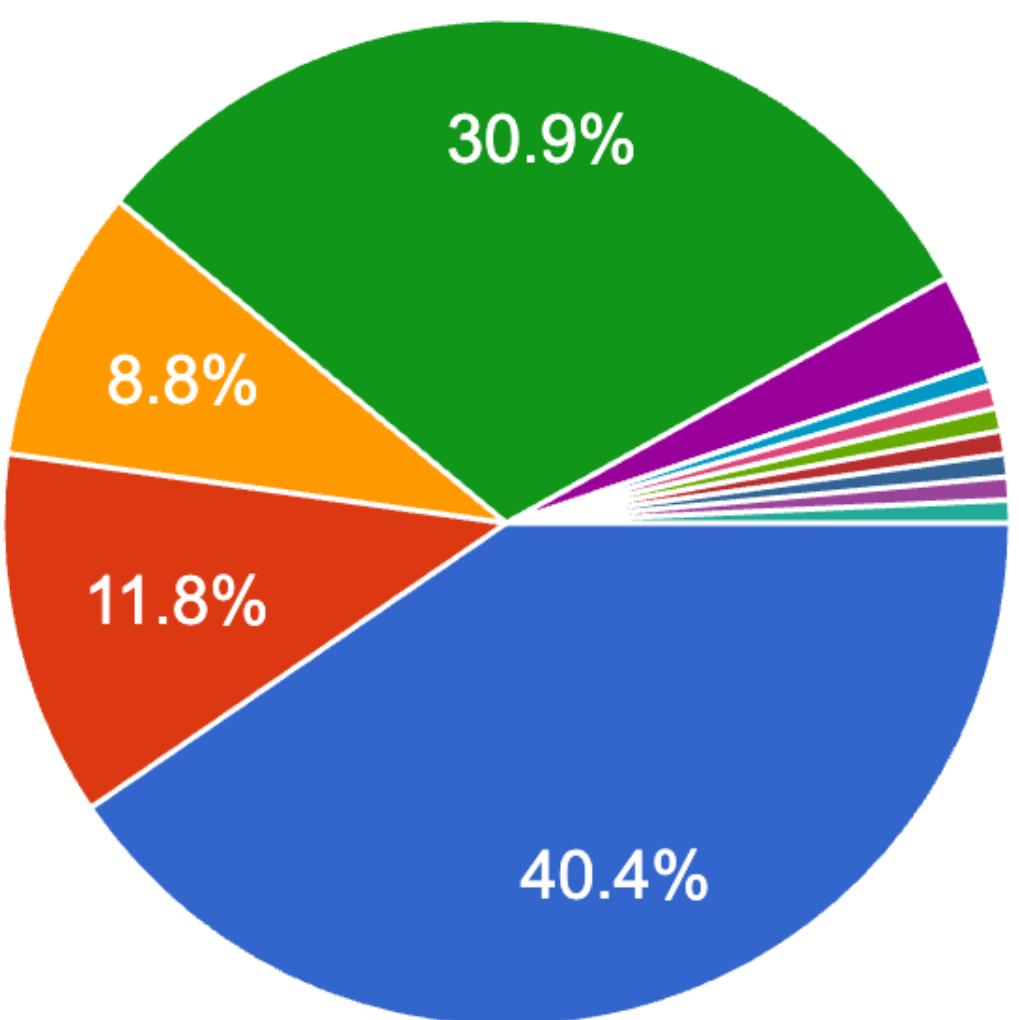
はじめに

令和6年11月に実施。集計結果138回答。
村内放送。回覧板。南信州新聞。観光協会HPと下條村WEBポータルサイト
で告知。観光アンケートを実施した結果をお知らせします。

【1】あなた自身について教えて下さい。

1-1.お住まいの地区をお選びください。

136 件の回答



- 睦沢地区
- 親田地区
- 山田河内地区
- ひさわ地区
- 飯田市
- 富山県
- 沖縄県
- 東京都

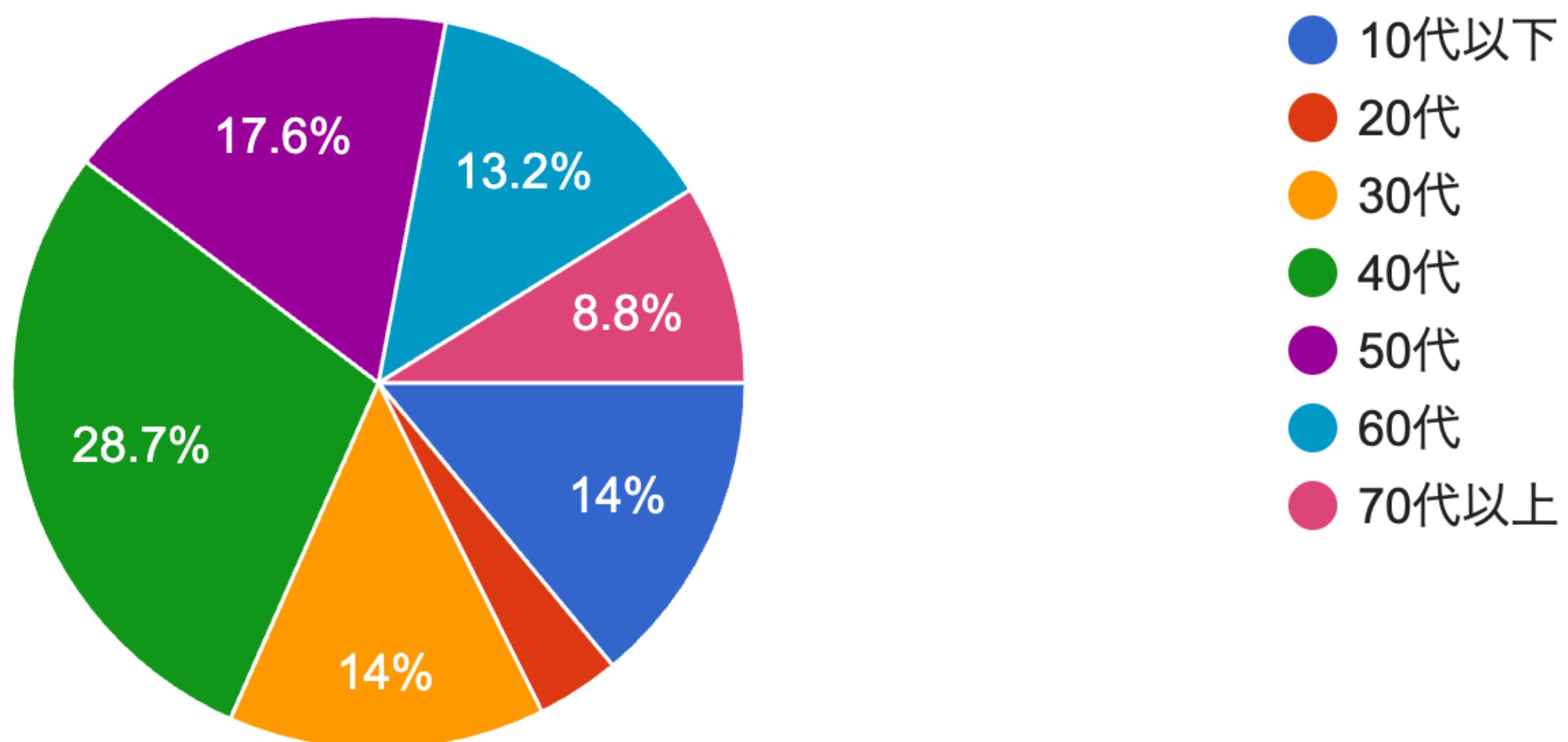
- バンコク
-

▲ 1/2 ▼

【1】あなた自身について教えて下さい。

1-2.あなたの年代をお聞かせください。

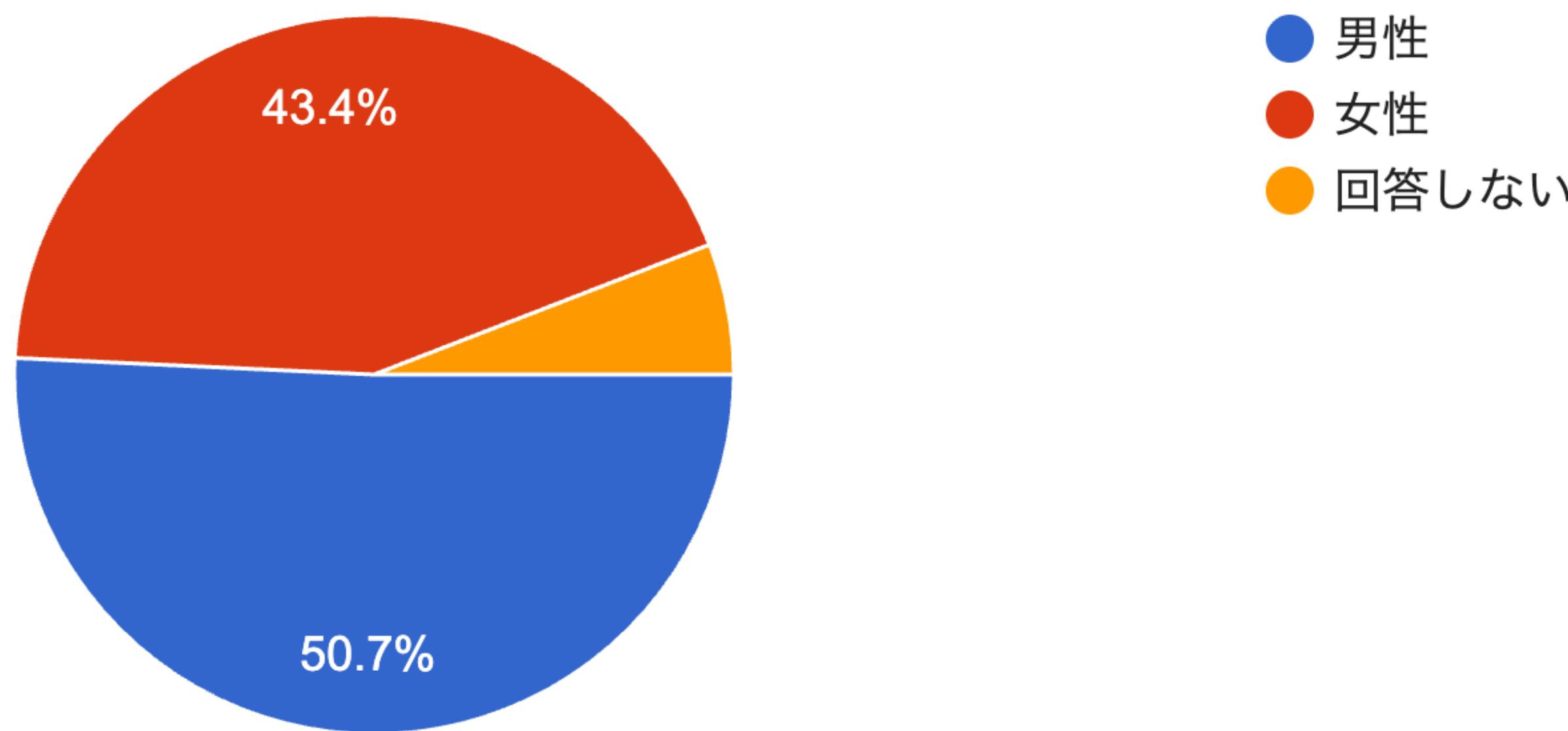
136 件の回答



【1】あなた自身について教えて下さい。

1-3.あなたの性別を教えてください。

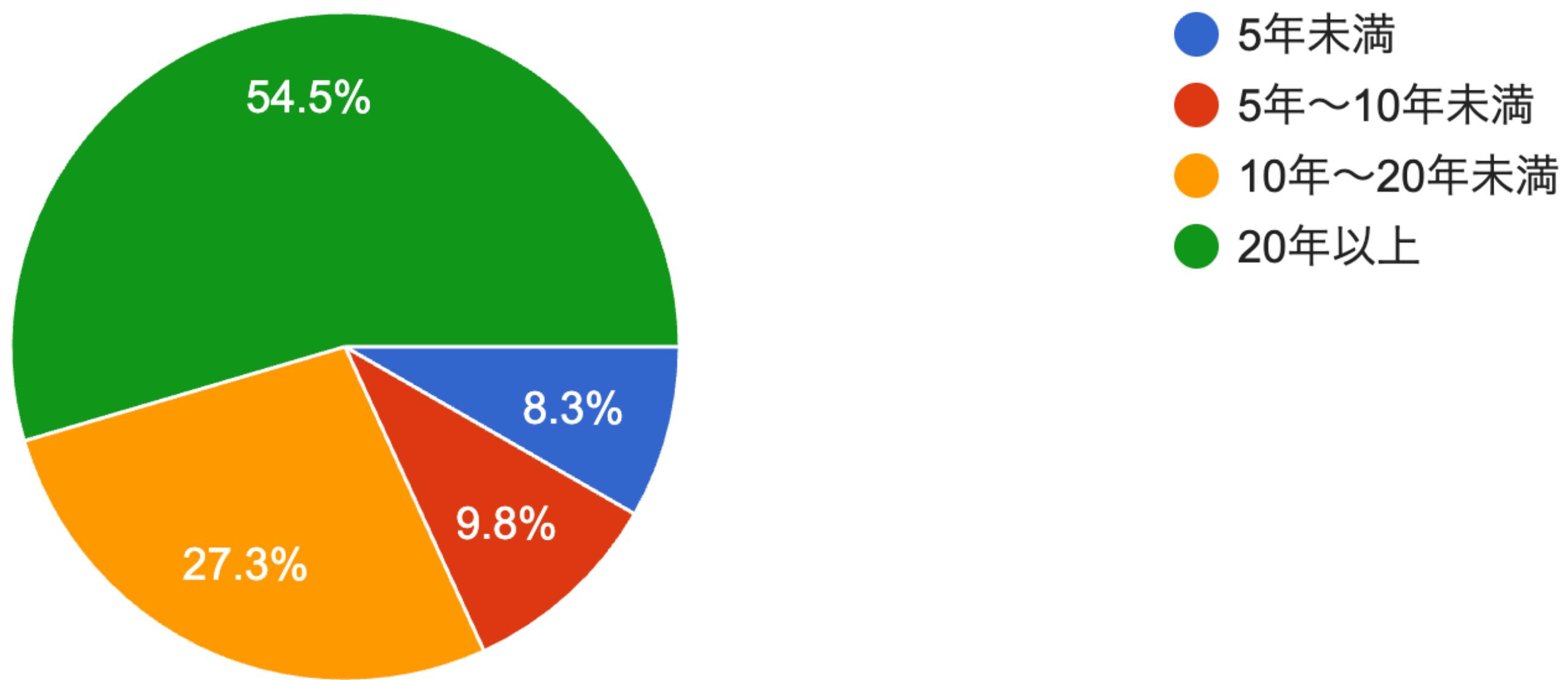
136 件の回答



【1】あなた自身について教えて下さい。

1-4.下條村での居住年数をお聞かせ下さい。

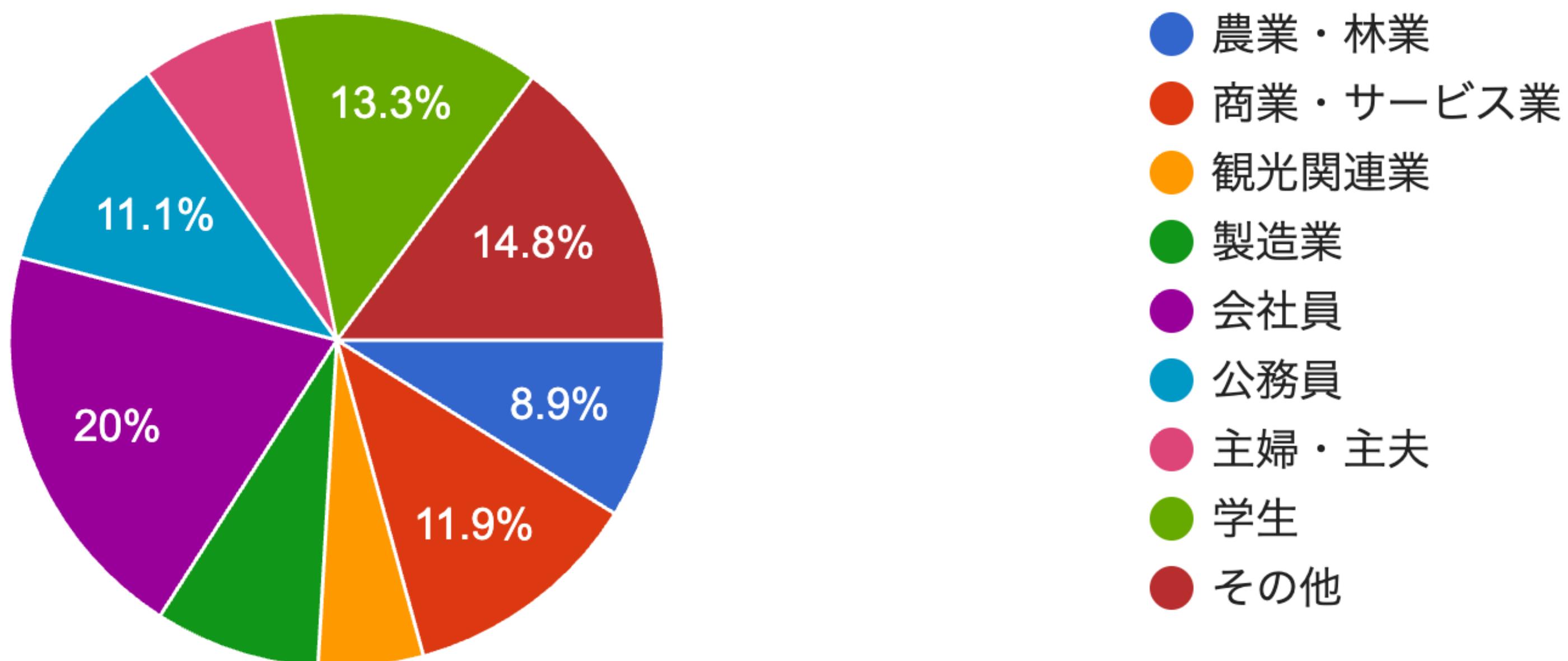
132件の回答



【1】あなた自身について教えて下さい。

1-5.ご職業（主なもの）を教えて下さい。

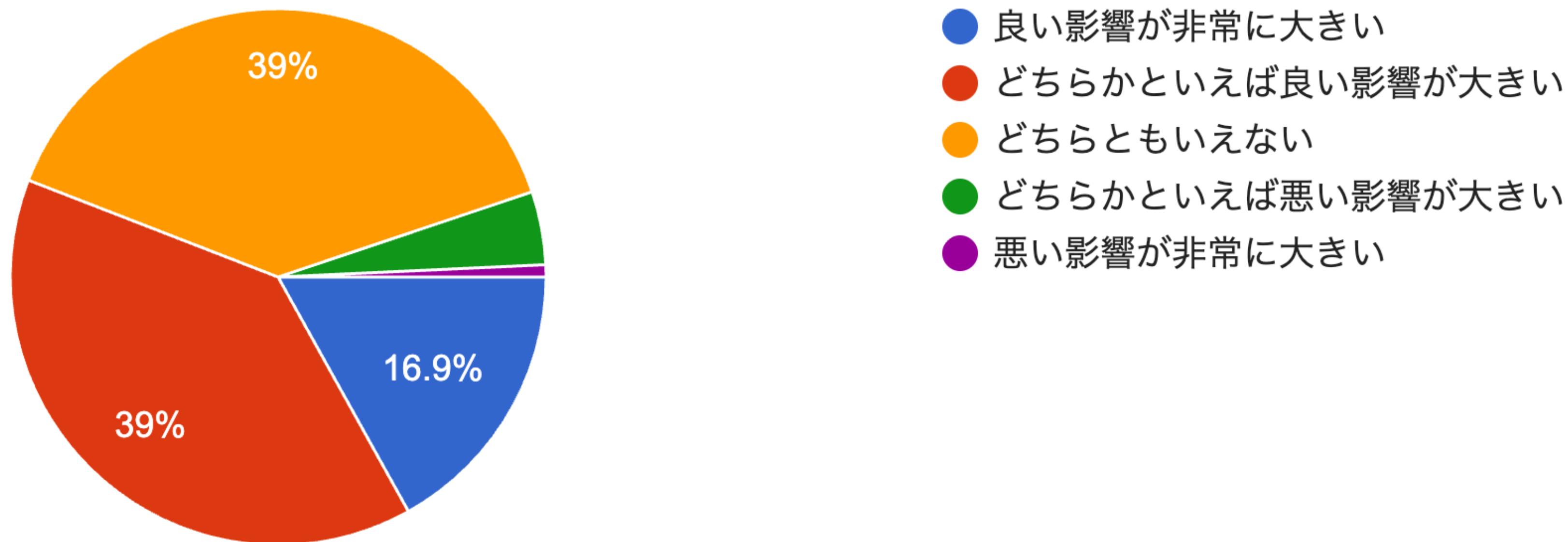
135件の回答



【2】観光が地域社会（下條村）に与える影響と課題について

2-1. 現在の村の観光は、村全体にとって「良い影響」と「悪い影響」のどちらが大きいと感じますか？

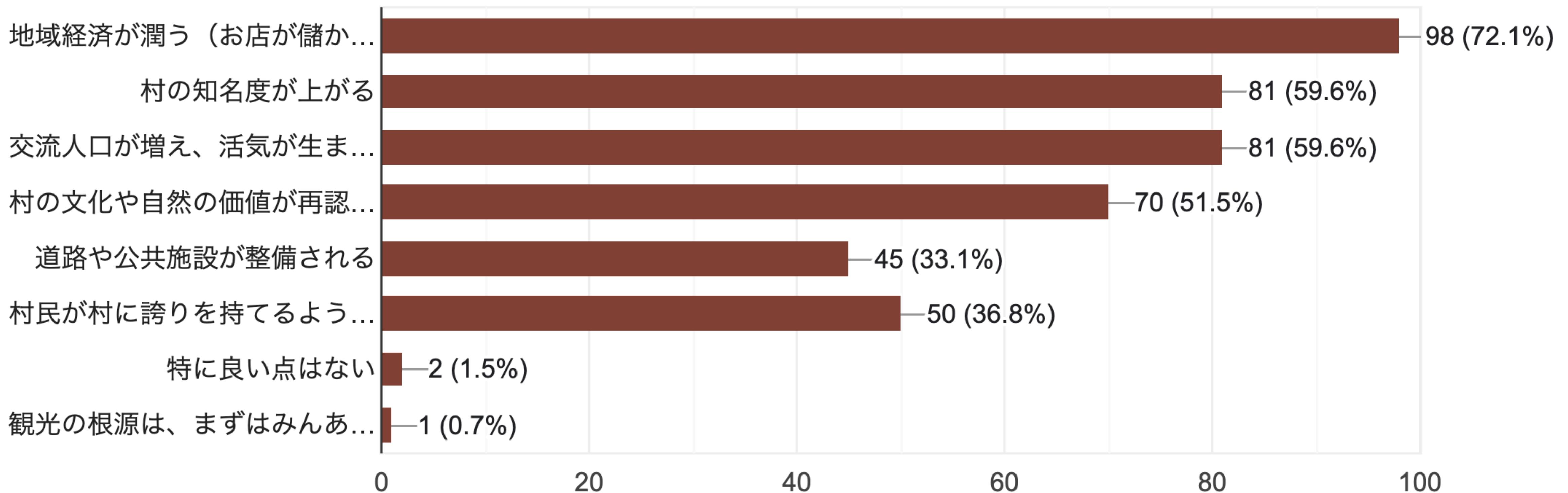
136 件の回答



【2】観光が地域社会（下條村）に与える影響と課題について

2-2. 観光が村にもたらす「良い点」は何だと思いますか？（いくつでも）

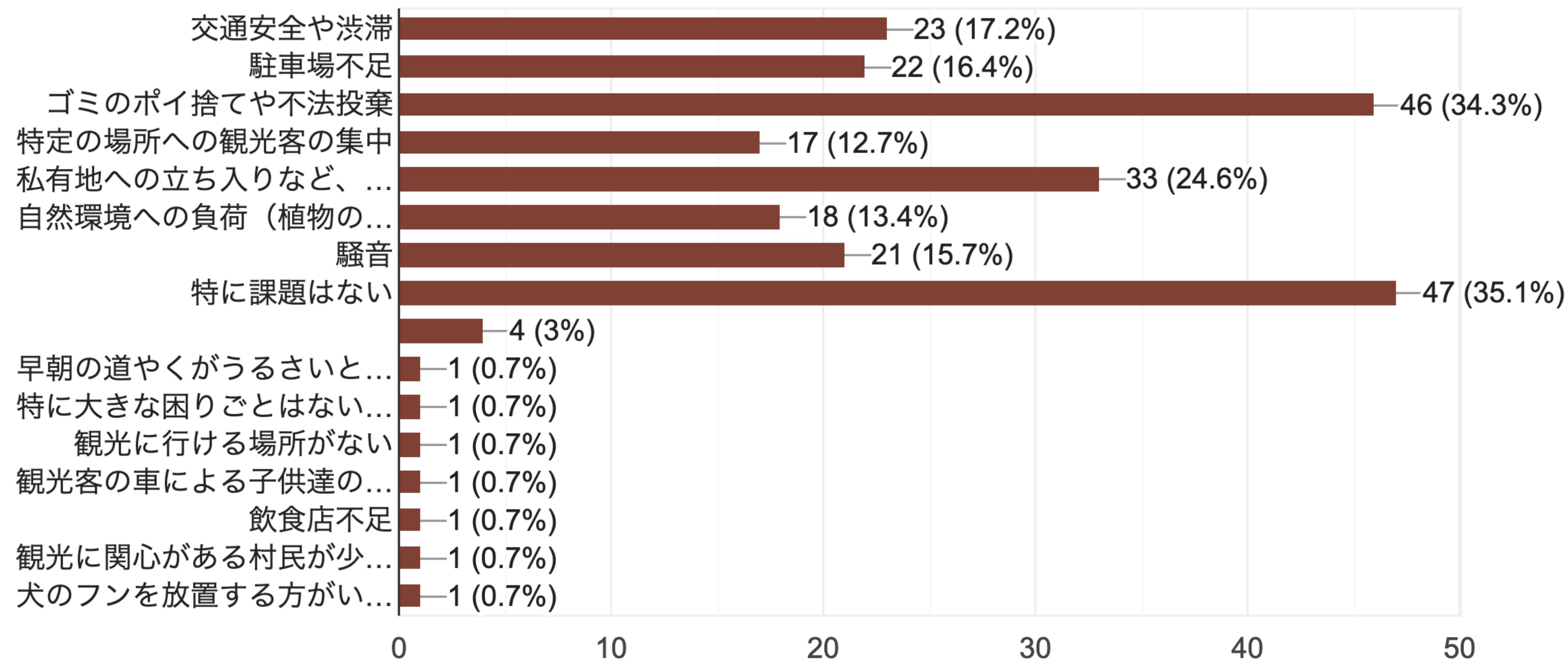
136 件の回答



【2】観光が地域社会（下條村）に与える影響と課題について

2-3.現在、観光によって生じている「課題や困りごと」はありますか？（いくつでも）

134 件の回答



【2】観光が地域社会（下條村）に与える影響と課題について

2-4.前述で回答した課題について、具体的に困っていることなどあれば自由にお書き下さい。（自由記述欄）

1. マナー・モラルに関する問題

- ・私有地への無断立ち入りや農産物・山菜の採取
- ・ゴミのポイ捨て（トンネル内、観光地周辺など）
- ・子供のおむつ、犬の粪の放置
- ・真夜中の騒音（宿泊施設、イベント会場など）
- ・煽り運転、スピードの出し過ぎ
- ・観光客のマナー不足（住民への配慮不足、騒音、駐車マナーなど）

2. 交通・インフラの問題

- ・駐車場不足（観光バスの駐車問題、道の駅周辺の混雑）
- ・道路の整備不良（道がボロい、狭い）
- ・交通渋滞（観光客の集中による国道の混雑）
- ・公共交通機関の不足（車がない観光客の移動手段が少ない）
- ・通学路の安全確保（登下校中の小中学生への影響）

3. 観光資源・施設の課題

- ・観光スポットの弱さ（集客力不足、魅力の発信不足）
- ・飲食店・休憩施設の不足（観光客のニーズに対応できていない）
- ・特産品の販売機会の不足（早朝・夕方の無人販売の必要性）
- ・観光バスの受け入れ体制（極楽峠など、大型車の通行可否）

4. 地域住民との共生・対立

- ・観光客と住民の生活圏のすみ分け（騒音、交通、ゴミ問題）
- ・民泊・宿泊施設による近隣トラブル（軽井沢の事例のような問題）
- ・観光客の増加による地域生活への影響（プライバシー、静穏の侵害）

5. 地域活性化・経済効果の課題

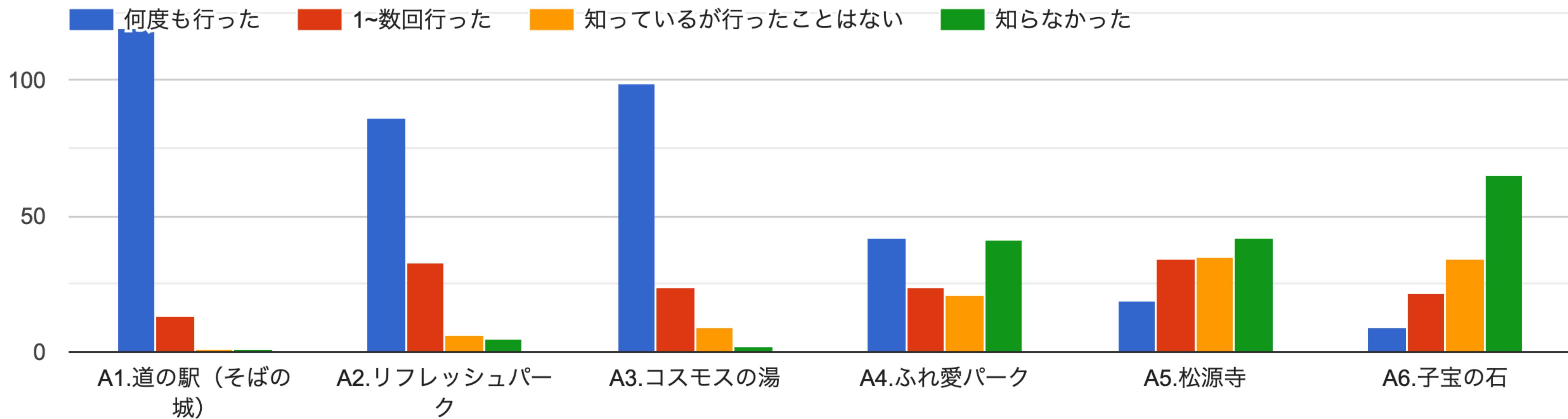
- ・若い世代の観光業への関与不足
- ・都会からの観光客の価値観とのギャップ
- ・農家の直売・特産品販売の拡大（遊休農地対策、後継者問題）
- ・観光客の消費が地域経済に十分還元されていない

6. その他

- ・特に問題ない（一部の回答者が感じていないケース）

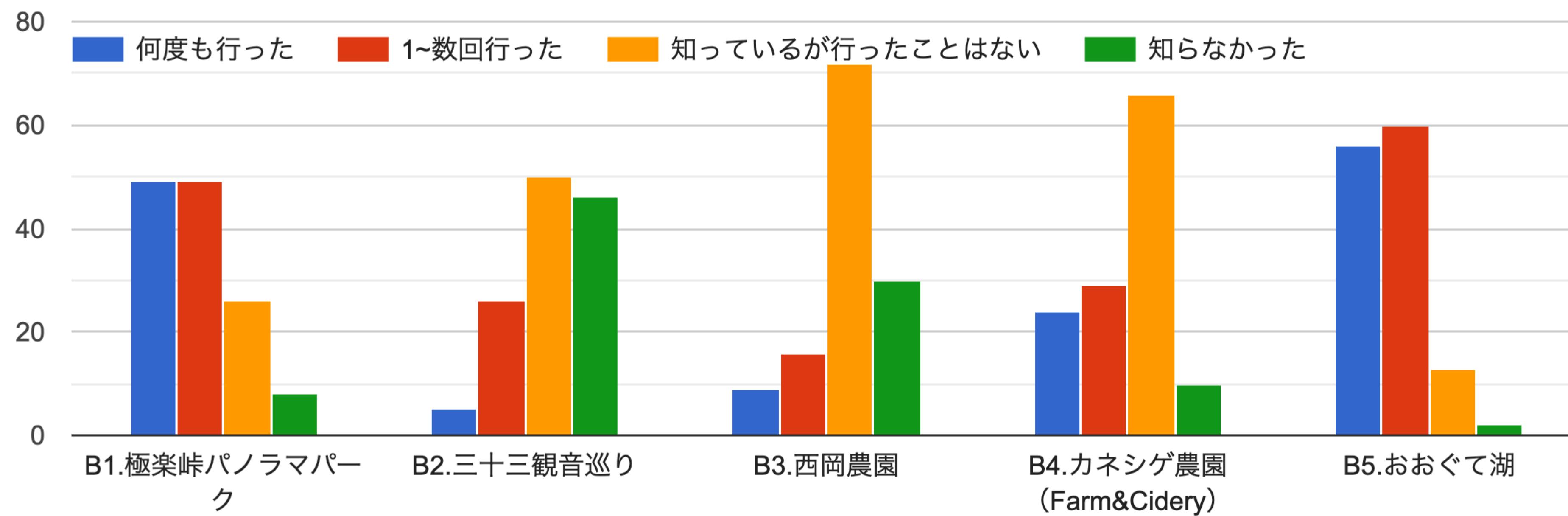
【3】村内観光スポットの認知度・訪問状況について教えて下さい

3-1. 『睦沢地区』



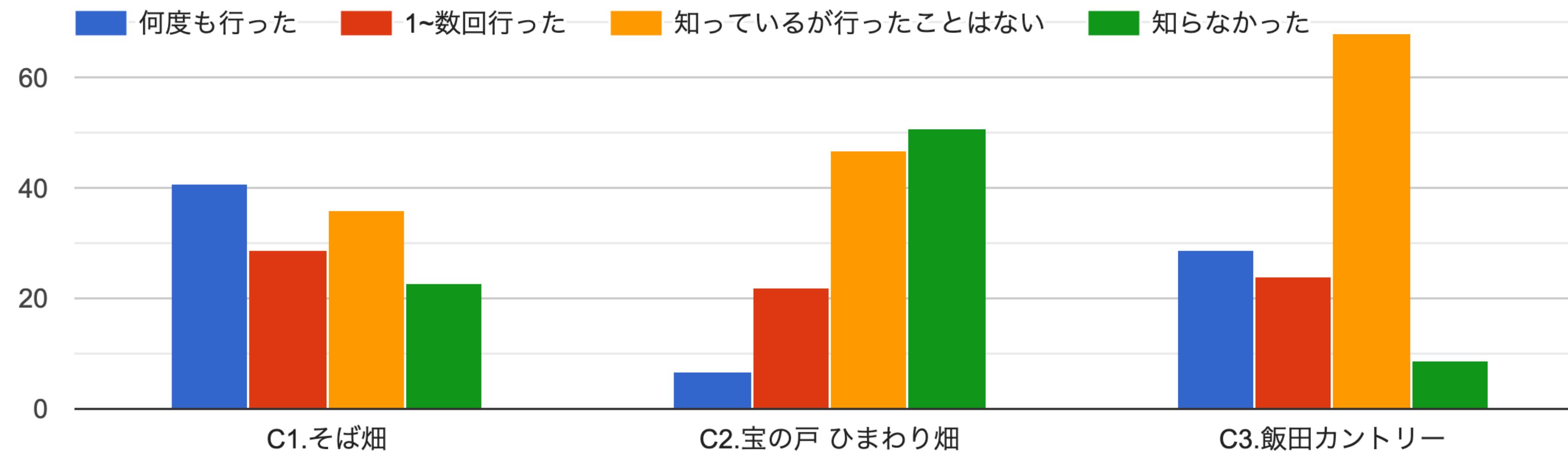
【3】村内観光スポットの認知度・訪問状況について教えて下さい

3-2. 『親田地区』



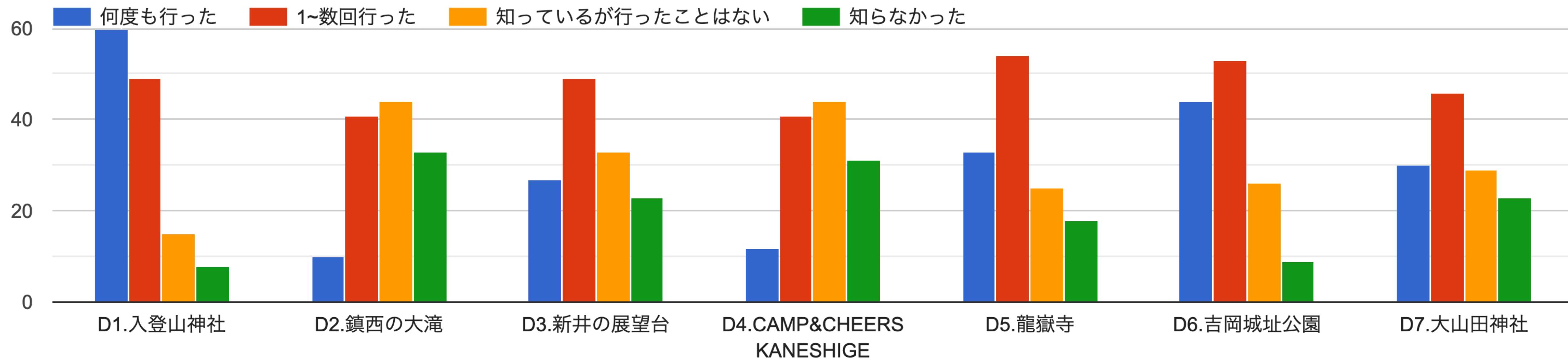
【3】村内観光スポットの認知度・訪問状況について教えて下さい

3-3. 『山田河内地区』



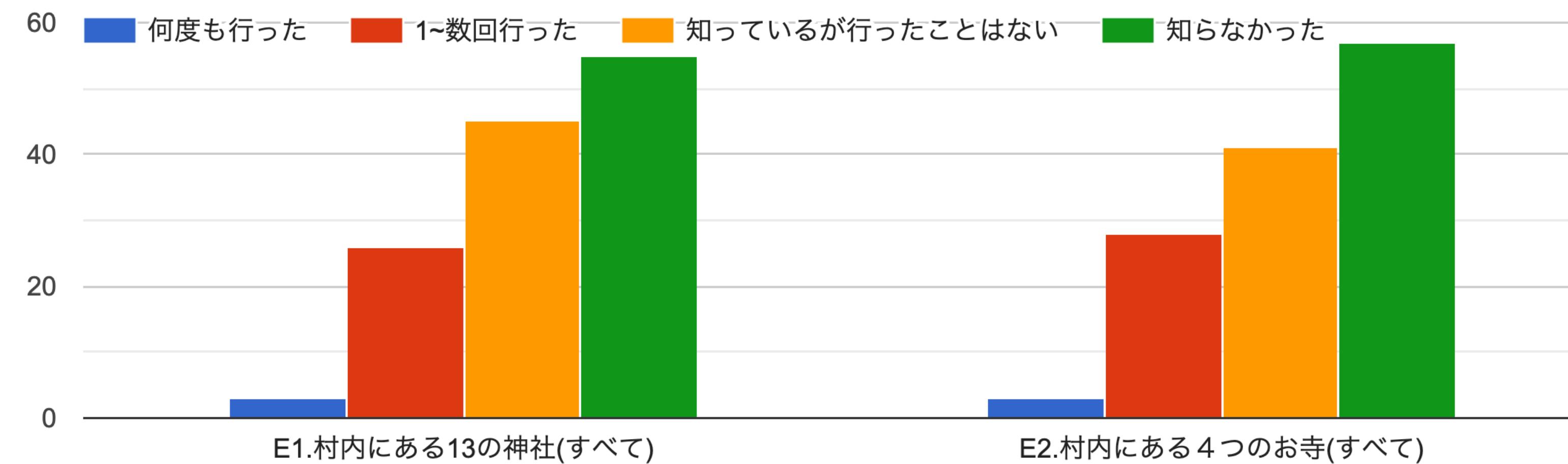
【3】村内観光スポットの認知度・訪問状況について教えて下さい

3-4.『ひさわ地区』



【3】村内観光スポットの認知度・訪問状況について教えて下さい

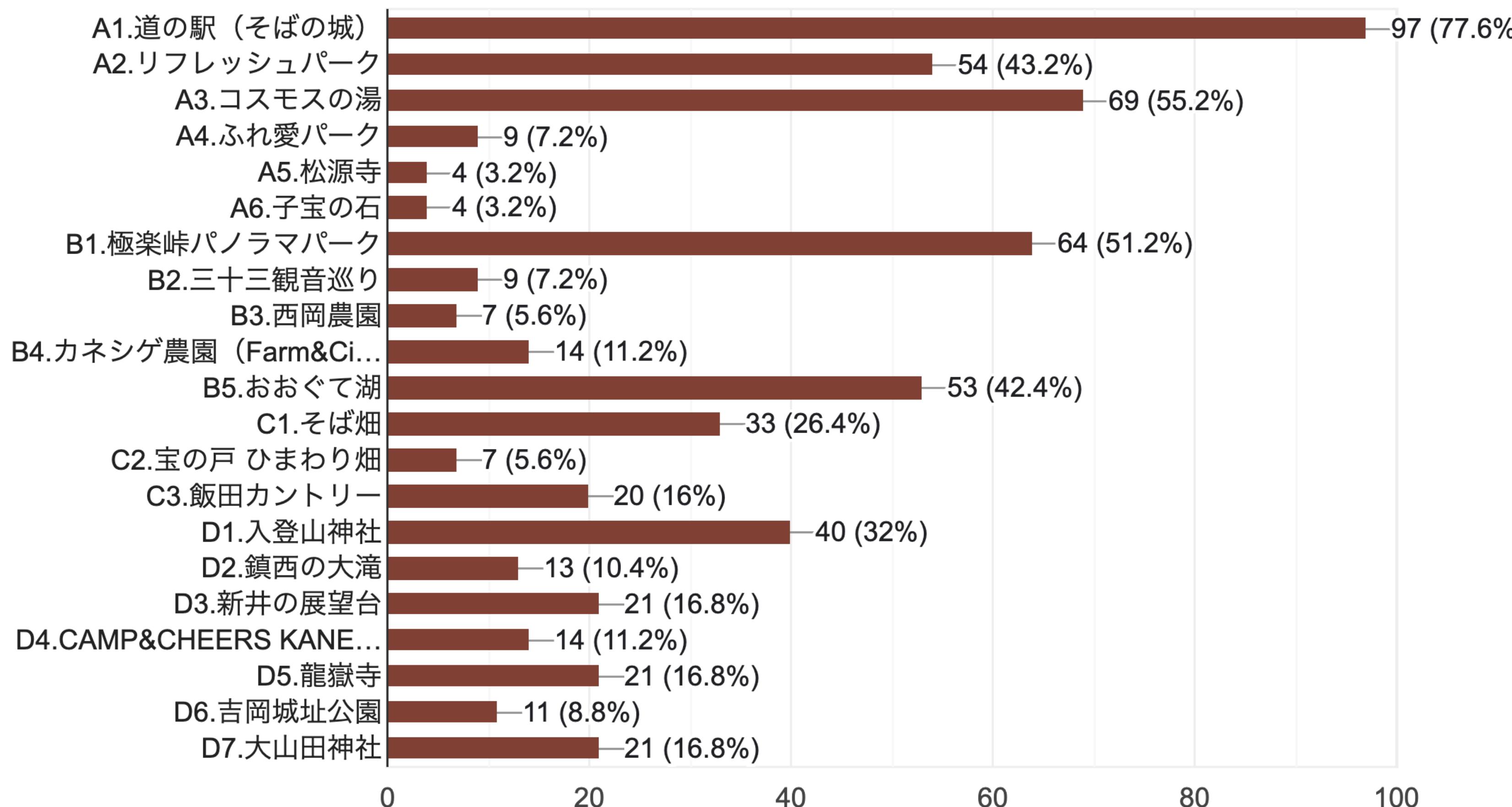
3-5.『その他』



【4】お気に入りスポットの魅力と改善点について教えて下さい。

4-1.上記リストの中で、あなたが「特にお気に入...慢だ！」と思う場所を最大7つまで選んで下さい。

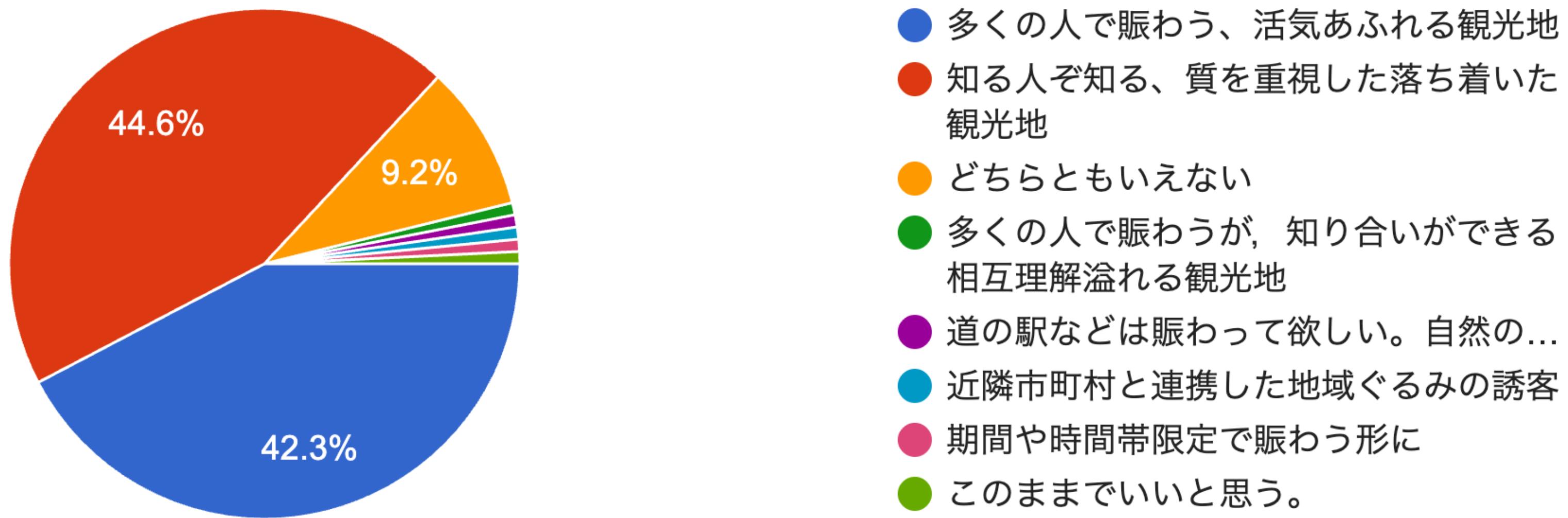
125 件の回答



【5】今後の下條村の観光について、ご意見をお聞かせ下さい。

5-1. 村は、将来どのような観光地を目指すべきだと思いますか？

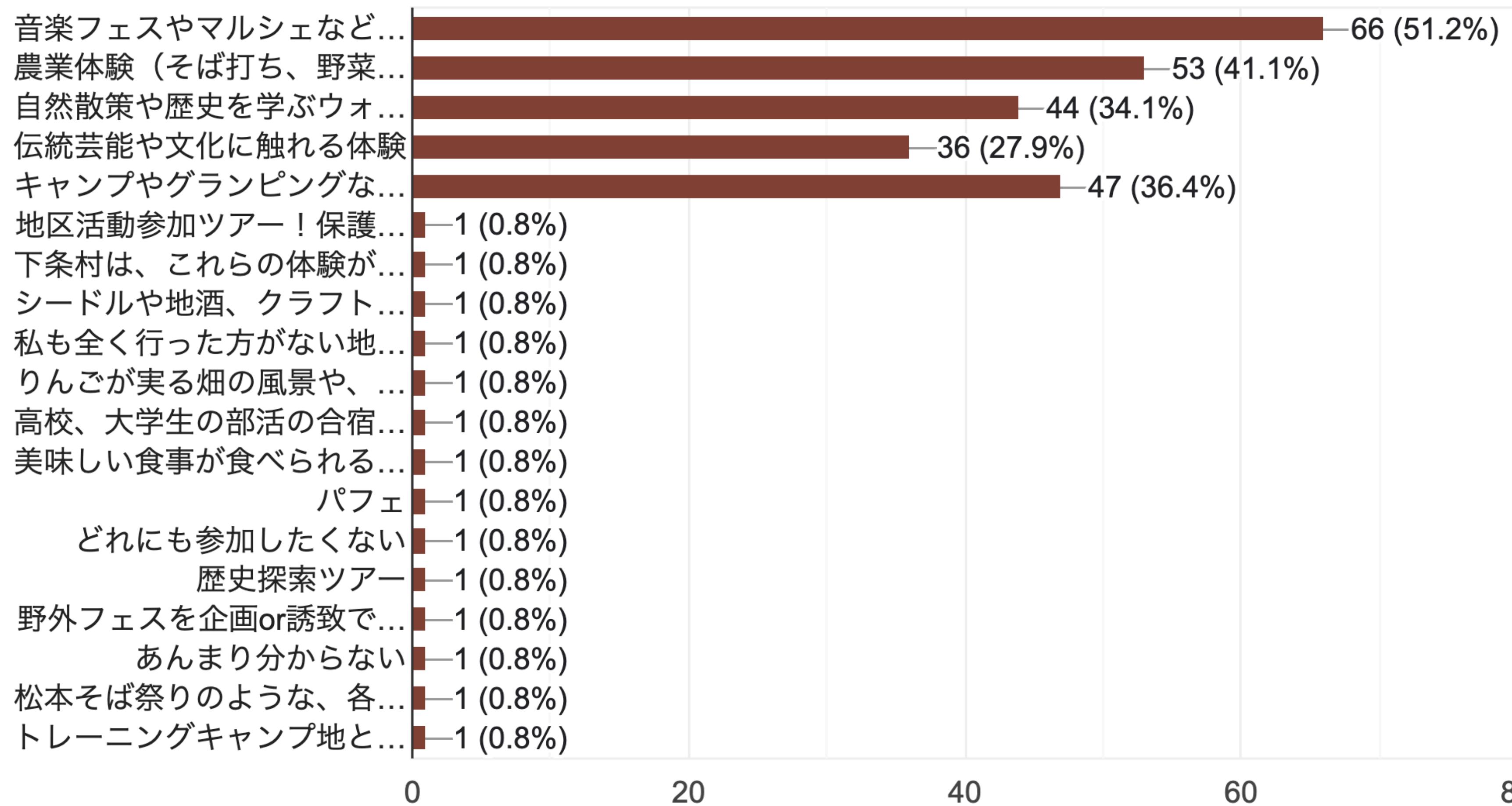
130 件の回答



【5】今後の下條村の観光について、ご意見をお聞かせ下さい。

5-2.下條村で、今後どのようなイベントや体験が...みたい、または村外の人に勧めたいと思いますか？

129 件の回答



【5】今後の下條村の観光について、ご意見をお聞かせ下さい。

5-3.あなたが思う「下條村の観光の魅力」を一言で表すとしたら、どんな言葉が思いつきますか？（自由記述欄）

「村を表す言葉」のカテゴリー分類とまとめ

【カテゴリー1】「自然・景観」— 村の最大の資産であり、アイデンティティの中核

最も多く寄せられたのが、このカテゴリーの言葉です。住民が村のアイデンティティとして強く認識していることがわかります。

- 具体的な言葉：

- 自然そのもの：「自然豊か」「自然」「山」「手入れされた里山」
- 景観・眺望：「美しい花と山並み」「伊那谷の縦軸が見える高原」「眺望（極楽パーク）」「南アルプスを望む大自然」
- 五感で感じる自然：「爽やかな風」「美味しい水と空気」「五感で感じる原風景」
- 自然がもたらす産物：「旬のおいしい野菜、果物たち」「フルーツ」「果物が豊富」

まとめ：住民の大多数は、村の最大の魅力であり根幹をなすものは**「手つかず、あるいは手入れされた美しい自然環境」**であると認識しています。これは村の誇りの源泉であり、今後のあらゆる施策の土台となるべき要素です。

【カテゴリー2】「雰囲気・暮らし」— 穏やかさと、そこからの変化への期待

自然環境から生まれる、村ならではの「空気感」や「時間感覚」を表す言葉です。ここには、現状を肯定する声と、停滞感への懸念が同居しています。

《ポジティブな側面：穏やかさ・癒やし》

- 具体的な言葉：

- 時間の流れ：「時間がゆっくり流れる静かな空間」「静かな時間」「長閑」「ひっそり」
- 心の状態：「心を癒し、リフレッシュ」「デトックスに最適な村」「ふるさとのようなぬくもり」
- 暮らしやすさ：「ほどよいローカル感」「治安がいい」「山奥の隠れ家リゾート」

《ネガティブ・課題の側面：何もない・停滞感》

- 具体的な言葉：

- 「無」の指摘：「何もない」「なにもない」「田舎」（※文脈によりポジティブにもネガティブにもなりうる）
- 変化への渴望：「今のままが良いとは思わない」「先駆けの村だったが取り残された感じ」
- 将来への不安：「今見ておかないと、10年後にはないかもしれない」

まとめ：**「静かで穏やかな暮らし」を村の魅力と感じる一方で、それが「何もない停滞感」**と表裏一体であるという、住民の複雑な心境が浮かび上がります。「癒やし」という価値を保つつも、時代から取り残されることへの危機感が存在します。

【カテゴリー3】「人・文化」— 温かさと、未来へのポテンシャル

村を構成する「人」の魅力や、これから育てていきたい「活動」に関する言葉です。未来への希望や期待が込められています。

- 具体的な言葉：

- 人の温かさ：「人がいい」「温かい人情!!」「人柄」「人が優しい」「笑顔」
 - 未来への期待・活動：「元気」、「女性活躍」「努力、活気」「移住したくなる村」
 - 具体的なアイコン：「からみん」「コスモス」「星とおおぐて湖」
 - 目指す姿：「また来たくなる村」「また来たい村」「非日常の演出」
- まとめ：住民は**「人の温かさ」を自覚しており、それが村の重要な魅力の一つだと考えています。
- そして、その人的資源を活かして、もっと「元気」で「活気」のある村にしたい、訪れた人が「また来たい」**と思えるような魅力を作っていくたい、という未来志向の願いが強く表れています。

【総括】住民が描く「村の姿」とは？

これらの言葉を統合すると、住民が抱く村のイメージは以下のようになります。

「私たちの村は、美しい山並みや豊かな自然、美味しい水や空気が最大の財産です。そこでは時間がゆっくりと流れ、訪れる人を癒やす力があります。そして何より、人が温かく、人情にあふれています。」

「しかし、その『静けさ』は『何もない』ことの裏返しでもあり、かつての活気を失い、時代から取り残されつつあるという危機感も感じています。」

「だからこそ、この素晴らしい自然と人の温かさを土台にして、新しい活気や魅力を生み出し、『また来たい』と思ってもらえる、未来に誇れる村にしていきたい。」

このアンケート結果は、村の強み（自然・人）と弱み（停滞感・魅力不足）、そして未来への期待（活気・交流）を明確に示しており、今後の村づくりの方向性を定める上で非常に貴重な羅針盤と言えるでしょう。